

# 大阪にあった 「外島保養院」の 移転問題から 考えよう

～現在も続く排除と差別  
障害者差別解消法の施行に向けて～

## ■ 映画上映

『もういいかい～ハンセン病と三つの法律～』より  
外島保養院について (30分)

## ■ シンポジウム

【シンポジスト】

屋 猛司 (邑久光明園入所者自治会会長)

宮良 正吉 (ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会会長)

三宅美千子 (外島保養院の歴史をのこす会共同代表)

尾上 浩二 (障害者インターナショナル日本会議副議長)

【コーディネーター】

谷川 雅彦 (部落解放人権研究所所長)

平成27(2015)年  
2月14日(土)  
13:30～16:30  
(開場13時)  
大阪市立阿倍野区民センター  
2階 大ホール  
(地図は裏面)

資料代  
500円

点字資料が  
必要な方は  
事前にお申し込み  
ください。

手話通訳  
要約筆記  
あり

## ドキュメンタリー映画

### 『もういいかい～ハンセン病と三つの法律～』

この映画は、ハンセン病問題の真実を、多くの証言に基づいて追っていきます。三つの法律(「癩予防ニ関スル件」「癩予防法」「らい予防法」)をもとに展開された絶対隔離政策によって療養所の中で何が行われ、入所者がどのような生活を送っていたのか、その仕組みと実態を検証し、100年にわたるハンセン病問題の歴史を描いた作品です。そのうち「外島保養院」についての部分を中心に30分に再編集したものを上映します。

## 「外島保養院」とは

明治40(1907)年3月公布の法律第11号「癩予防ニ関スル件」、同年7月の「癩患者療養所設置に関する内務省令」に基づいて、全国を5区域に分け、東京、青森、大阪、香川、熊本の5府県に各1カ所、連合府県立の療養所が設置されることになりました。

第3区連合府県立外島保養院は、明治42(1909)年、海拔0メートルの大阪湾に注ぐ神崎川河口に設置されました。第3区とは、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、三重、滋賀、岐阜、福井、石川、富山、鳥取の2府10県によるものです。